

平成 29 年度

試 験 曲

音楽学部個別学力検査等

<一般入試>

<推薦入試>



沖縄県立芸術大学

目 次

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー	1
募集人員	1
I 一般入試	
1 試験科目一覧	3
2 出願方法	3
3 併願について	4
4 試験内容及び試験曲等	
<<専攻試験>>	
(1) 音楽表現専攻声楽コース	5
(2) 音楽表現専攻ピアノコース	6
(3) 音楽表現専攻弦楽コース	7
(4) 音楽表現専攻管打楽コース	9
(5) 音楽表現専攻作曲理論コース	13
(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース	13
(7) 音楽文化専攻音楽学コース	13
(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース	14
(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース	14
(10) 社会人入試（琉球芸能専攻）	14
<<音楽に関する基礎能力検査>>	
(1) 楽典（音楽表現専攻・音楽文化専攻・琉球芸能専攻）	15
(2) 聴音（音楽表現専攻・音楽学コース）	15
(3) 副科ピアノ（音楽表現専攻＜ピアノコースを除く＞・音楽学コース）	15
(4) 音楽又は舞踊の実技（音楽文化コース）	15
5 平成 29 年度個別学力検査等日程表	16
II 推薦入試	
1 試験科目一覧	17
2 出願方法	17
3 試験内容及び試験曲等	
<<専攻試験>>	
(1) 音楽表現専攻声楽コース	18
(2) 音楽表現専攻ピアノコース	18
(3) 音楽表現専攻弦楽コース	18
(4) 音楽表現専攻管打楽コース	18
(5) 音楽表現専攻作曲理論コース	19
(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース	19
(7) 音楽文化専攻音楽学コース	19
(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース	19
(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース	19
<<音楽に関する基礎能力検査>>	
(1) 楽典（音楽表現専攻＜作曲理論コースを除く＞・沖縄文化コース・琉球芸能専攻） ...	20
(2) 聴音（音楽表現専攻＜作曲理論コースを除く＞）	20
(3) 新曲視唱（作曲理論コース・音楽学コース）	20
(4) 副科ピアノ（音楽表現専攻＜ピアノコースを除く＞・音楽学コース）	20
4 平成 29 年度推薦入試日程表	20
III 入験問題例	21

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄の地で育まれた個性の美である伝統芸能はもとより、西洋・東洋にわたる芸術音楽を体系的に研究教授し、将来、実演家、教育者、研究者をはじめとして、音楽芸術分野において社会に貢献できる人材の養成をめざします。

豊かな表現力と高い技術力、そして理論的思考力を涵養し、それらを総合して現代社会に新たな価値をもたらすことのできる人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー

- 音楽家として活躍していきたいという意欲に満ちた人。
- 音楽の基礎的な実技力を備え、さらに専門的に高度な技術や学問の修練を重ねたいと考えている人。
- 音楽に対する視野を広げ、現代社会において音楽を学ぶ意義を考えていこうとする人。
- 古典を学び、さらに新しい時代にふさわしい芸術文化を創造して、社会に発信していこうという積極性をもつ人。

■カリキュラム・ポリシー

- 主に個人指導による主専攻実技等やそれらを支える関連科目群を4年間にわたって段階的に履修します。専門分野における技術向上とともに、知性あふれるバランスのよい人材育成を行います。
- 基礎的で幅広い音楽的教養を高める科目を配置し、多様化する現代社会に広い視野で臨んでいく能力を育み、個性を伸ばす教育を行います。
- 沖縄県のもつ歴史をふまえ、恒久の地球平和を謳う拠点となるよう、社会との連帯を深めます。積極的に社会とのかかわりを学び、芸術活動を通して自らの能力を発揮できる人間教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー

- 大学ディプロマ・ポリシーを基本に、段階的かつ体系的な学修により涵養されたそれぞれの専門分野における知識や技術、表現力、また他者との協働を通して社会に対して汎用化できる能力等を総合的に評価し、学士（芸術）の学位を授与します。

募集人員

学 部	学 科	専 攻	コース	定員	募集人員				
					一般入試		推薦入試		社会人 入 試
					前期 日程	後期 日程	県内 枠	全国 枠	
音楽学部	音楽学科	音楽表現	声 楽	23	17	0	3	3	0
			ピ ア ノ						
			弦 楽						
			管 打 楽						
			作 曲 理 論						
		音楽文化	沖 縄 文 化	7	4	0	2	1	0
			音 楽 学						
		琉球芸能	琉球古典音楽	10	5	0	4	1	若干名
			琉球舞踊組踊						
		計			40	26	0	9	5

注1. 推薦入試の手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加える。

注2. 推薦入試の県内、全国それぞれの枠で定員に満たなかった人員は他方の枠に算入することがある。

注3. 社会人入試の募集人員は、一般入試の前期日程の募集人員に含む。

<一般入試>

I 一般入試

1 試験科目一覧

試験科目 専攻・ コース名		専 攻 試 験 (第1次試験)					音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)			
		実技 検査	コールユー ブ ン ゲ ン	初見	小論文	口述 試験	楽典 (注3)	聴音	副 科 ピアノ	音楽又は 舞踊の実技
音楽 表現 専攻	声 楽 コース	◎	◎				◎	◎	◎	
	ピアノ コース	◎		◎ (視奏)			◎	◎		
	弦 楽 コース	◎					◎	◎	◎	
	管打楽 コース	◎					◎	◎	◎	
	作曲理論 コース	◎				◎	◎	◎	◎	
音楽文化専攻	沖縄文化 コース				◎	◎	◎			◎
	音楽学 コース				◎	◎	◎	◎	◎	
琉球芸能専攻	琉球古典 音楽コース	◎ (調弦含む)			※	※	◎			
	琉球舞踊 組踊コース	◎		◎ (演技・視唱)	※	※	◎			

注1. ◎印は、受験者が必ず受けなければならない科目を示す。※印は社会人入試のみ（但し楽典は受験しない）

注2. 各専攻の個別学力検査等（実技検査を含む）については、第1次試験と第2次試験に分けて実施するが、第2次試験については、第1次試験合格者についてのみ実施する。

注3. 沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、他専攻の楽典とは別問題とする。

【予告】聴音については、平成30年度入学者選抜試験から「聴音又は視唱を選択する」への変更を予定している。

2 出願方法

(1) 声楽コース志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。

ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(2) 弦楽および管打楽コース志願者は、次の楽器の中から1種類を選択し、出願すること。

(弦 楽 器) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽器) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット

テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器

(3) 琉球古典音楽コース志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。

歌三線、琉球箏曲

3 併願について

音楽学部への出願は、志願する専攻・コース（声種・楽器）を1つに限るが、以下の表に示す限りにおいては併願が可能である。

また、音楽表現専攻弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする志願者は、ヴィオラを第2志望として出願することができる。

【併願可能な専攻・コース】

第2志望 第1志望		音楽表現専攻					音楽文化専攻		琉球芸能専攻	
		声楽 コース	ピアノ コース	弦楽 コース	管打楽 コース	作曲理論 コース	沖縄文化 コース	音楽学 コース	琉球古典 音楽コース	琉球舞踊 組踊コース
音楽表現専攻	声楽コース						○	○		
	ピアノコース	○					○	○		
	弦楽コース						○	○		
	管打楽コース						○	○		
	作曲理論コース	○					○	○		
音楽文化専攻	沖縄文化コース							○	○	○
	音楽学コース	○					○			
琉球芸能専攻	琉球古典音楽コース						○			○
	琉球舞踊組踊コース						○		○	

注：併願の場合には、第1志望の試験科目に加えて、第2志望の専攻試験を受験しなければならない。ただし、音楽学コースと沖縄文化コースを併願する場合は、第2次試験では音楽学コースの科目を受験すること。

なお、センター試験受験科目については、第1志望で受験した科目を第2志望のセンター試験科目として利用することができる。

4 試験内容および試験曲等

《専攻試験》

(1) 音楽表現専攻声楽コース

注意事項：課題曲、自由曲とも暗譜で歌うこと。歌詞は原語で歌うこと（ただし、曲によっては通例歌われている他の外国語で歌うことも可）。

伴奏者は本学で用意する。ただし、事前の伴奏合わせはない。

時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

<課題曲>

下記の課題曲 17 曲から任意の 3 曲を選択し、入学願書に記入すること。

提出した 3 曲の中から試験当日、受験者本人のくじ引きにより 1 曲を歌う。

<自由曲>

課題曲以外の任意の曲、ただし 5 分以内とする。歌詞は原語で歌うこと。

<コールユーブンゲン>

F.Wüllner：Chorübungen No.30 より、No.71 までの中から、当日 1 曲を指定する。

移動ド、固定ド、のどちらで歌ってもよい。

課 題 曲

①	M.A.Cesti	Intorno all'idol mio	(c-moll, d-moll, e-moll, f-moll)
②	G.B.Pergolesi	Se tu m'ami	(es-moll, f-moll, g-moll)
③	A.Scarlatti	Se tu della mia morte	(e-moll, g-moll, f-moll)
④	A.Scarlatti	Già il sole dal Gange	(G-dur, As-dur, B-dur)
⑤	A.Scarlatti	Le violette	(F-dur, G-dur, B-dur, H-dur)
⑥	A.Scarlatti	Sento nel core	(d-moll, es-moll, f-moll, g-moll)
⑦	F.Gasparini	Lasciar d'amarti	(d-moll, f-moll, g-moll)
⑧	F.Durante	Vergin, tutto amor	(h-moll, c-moll, d-moll)
⑨	W.A.Mozart	Das Veilchen	(E-dur, G-dur)
⑩	F.Schubert	An die Musik	(B-dur, C-dur, D-dur)
⑪	F.Schubert	Frühlingsglaube	(F-dur, G-dur, As-dur)
⑫	R.Schumann	Die Lotosblume	(Des-dur, Es-dur, F-dur)
⑬	弘田龍太郎	浜千鳥	(C-dur, Es-dur)
⑭	瀧廉太郎	荒城の月	(c-moll, d-moll)
⑮	山田耕筰	かやの木山	(C-dur, D-dur)
⑯	平井康三郎	ゆりかご	(E-dur)
⑰	信時潔	北秋の	(Des-dur, D-dur)

* () 内の調は、本学が用意する伴奏用楽譜の調である。他の調で歌う場合は、希望の調の伴奏用楽譜を願書とともに提出すること。

*イタリア歌曲は外国版を使用する時は、伴奏用楽譜を提出すること。

(2) 音楽表現専攻ピアノコース

注意事項：課題曲は A,B,C の順に演奏し、すべて暗譜で演奏すること。

繰り返しは省略する。時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

下記の課題曲 A,B,C についてそれぞれ任意の曲を 1 曲選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<課題曲 A>

J.S.Bach：平均律クラヴィア曲集第 1 巻または第 2 巻より任意の 1 曲
(プレリュードとフーガ)

<課題曲 B>

F.Chopin または F.Liszt：練習曲より任意の 1 曲

<課題曲 C>

L.v.Beethoven：ピアノ・ソナタ (Op.2-1～Op.90) より任意の第 1 楽章
(Op.27-1,Op.27-2,Op.49-1,Op.49-2,Op.79 の 5 曲を除く)

<初見視奏>

簡易な曲の視奏。

試験室入室前に 4 分程度の予見時間がある。

(3) 音楽表現専攻弦楽コース

注意事項：すべて暗譜、無伴奏で演奏すること。記号による反復は行わない。

試験曲のうち、指定した版のある曲以外は、どの版を使用しても良い。

時間の都合により演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

◆ヴァイオリン

<音階>

Carl Flesch : Scale system より任意の調一つを選択。

5 番（3 オクターヴの音階 Tempo は♩=80～100）全部。

6 番（3 度の音階 Tempo は自由）冒頭 4 小節。

7 番（6 度の音階 Tempo は自由）冒頭 4 小節。

8 番（8 度の音階 Tempo は自由）冒頭 4 小節。

*フィンガリングは自由。

*スラー、リズムは C-dur に準じること。ただし重音のスラーは一拍ずつのスラーで演奏すること。

<課題曲 A>

以下の練習曲、または、これらと同等程度以上の練習曲から任意の 1 曲を選択。

R.Kreutzer : 42 Etudes (Peters 版)

*No.1,3,5 を除く。リズムやスラーはオリジナルに準じること。

P.Rode : 24 Caprices

J.Dont : 24 Etudes and Caprices Op.35

<課題曲 B>

任意の協奏曲より第 1 楽章または最終楽章（カデンツァは除く。ただし、作曲者が曲中に著したもののについては演奏すること）。

注. ヴァイオリンを第 1 志望とする志願者はヴィオラを第 2 志望とすることができる。

その場合、第 2 志望の実技試験も受験しなければならない。ヴィオラ試験として第 1 志望と同じ「音階」、「課題曲 A」、「課題曲 B」をヴァイオリンで演奏すること。

◆ヴィオラ

<音階>

C-dur の音階。Tempo は♩=80 以上

フィンガリングは自由。ただしボーイングは譜例に従うこと。



<課題曲 A>

R.Kreutzer : 42 Etudes より任意の 1 曲（但しヴィオラ用の編曲）を選択。

<課題曲 B>

任意のヴィオラ協奏曲より第 1 楽章（カデンツァを除く）

◆チェロ

<課題曲 A>

Sebastian Lee : Melodische und progressive Etüden Opus31 (SCHOTT 版)

40 MELODIC STUDIES Opus31 (INTERNATIONAL 版)

より任意の 1 曲を選択。

<課題曲 B>

任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章（カデンツァを除く）

◆コントラバス

<課題曲 A>

F.Simandl : 30 Etudes より任意の 1 曲を選択。

<課題曲 B>

任意のコントラバス協奏曲より第 1 楽章（カデンツァを除く）

(4) 音楽表現専攻管打楽コース

注意事項：無伴奏で演奏すること。暗譜でなくてもよい。

時間の都合により演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

【木管楽器】

◆フルート

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① E.Koehler : 35 Exercises op.33 第2巻(12 Medium Difficult Exercises) より
No.1, 5, 6, 8, 10, 12の中から1曲を当日指定する。(Carl Fischer 版)
- ② W.A.Mozart : Concerto in D major K314 より第1楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆オーボエ

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① F.W.Ferling : 48 Etudes op.31 より No.1~No.6の中から1曲を当日指定する。(版は自由)
- ② J.Haydn : Concerto in C major Hob.VIIg : C1 より第1楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆クラリネット

<音階>

R.Eichler : Scales for Clarinet 全長調の1番の中から演奏する。

調、アーティキュレーションは当日指定する。

(国立音楽大学教育出版部)

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Rose : 32 Etudes より No.5～No.12 の中から 1 曲を当日指定する。(Leduc 版)
- ② C.M.v.Weber : Concertino für Klarinette und Orchester Es-dur Op.26 J.109
(Breitkopf & Härtel 版)

◆ファゴット

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① J.Weissenborn : Studies for Bassoon op.8 vol.2 より No.4,6,8,10,13,14 の中から 1 曲を当日指定する。(版は自由、繰り返しなし)
- ② A.L.Vivaldi : Concerto in a minor F8/7 RV497 より 第 1 楽章 (Ricordi 版)

【金管楽器】

(共通課題)

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



◆ホルン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.3,6,9,13,15 の中から 1 曲を当日指定する。
(Carl Fischer 版、繰り返しなし)
- ② W.A.Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.3 Es-dur KV 447 より 第 1 楽章
(カデンツァを除く、Breitkopf & Härtel 版)

◆トランペット

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.8,10,12,15,19 の中から 1 曲を当日指定する。
(Carl Fischer 版、繰り返しなし)
- ② G.F.Händel : Aria con Variazioni (Transcribed by Bernard Fitzgerald 版、繰り返しなし)

◆テナートロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.5,6,7,8,9 の中から 1 曲を当日指定する。(版は自由、繰り返しなし)
- ② A.Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (版は自由)

◆バストロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.6,7,8,9 の中から 1 曲を当日指定する。
(1 オクターヴ下げて演奏する、版は自由、繰り返しなし)
- ② A.Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (Reift 版)
※テナー用の原曲を完全 4 度低く移調したバス・トロンボーン用の編曲で演奏すること。

◆チューバ

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.3,10,14,15,19,20 の中から 1 曲を当日指定する。
(Robert King 版、繰り返しなし)
- ② J.S.Bach : Air and Bourrée (W.J.Bell 編曲 Carl Fischer 版)
※使用楽器は、B♭、C、F 管のいずれかとする。

◆打楽器

打楽器 (A)、打楽器 (B) のどちらかを選択し入学願書に記入して届けること。

打楽器 (B) で受験する者は課題曲②の記号と曲名を入学願書に記入すること。

打楽器 (A) 小太鼓

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、五つ打ち、七つ打ち、九つ打ちの中から当日指定する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲> 次の①、②を演奏する。

- ① W.F.Ludwig : Collection Drum Solos より 18 ページ～19 ページの中から数曲を当日指定する。
(Ludwig Music Publishing 版)
- ② A.J.Cirone : Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare drum より 3,13,19,31 の中から数曲を当日指定する。(YMM 版)

打楽器 (B) マリンバ

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、五つ打ち、九つ打ちの中から当日指定する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲> 次の①、②を演奏する。

- ① M.Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone 39 Etudes より V、XIII、XV、XX から 1 曲を当日指定する。(Chappell & Co 版)
- ② J.S.Bach : Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV1001-1006
イ、ロ、ハの中から任意の 1 曲を選択して演奏する。(版は自由)
イ : Sonata I より Adagio
ロ : Sonata I より Fuga Allegro
ハ : Partita III より Preludio

(5) 音楽表現専攻作曲理論コース

<作曲実技>

和声課題の実施（所要時間 2 時間）。ソプラノ課題およびバス課題を四声体で実施する。

<口述試験>

実技試験で実施した和声課題に関する質疑を含め、音楽への意欲などを問う。

これまでの作曲作品の楽譜、演奏された録音媒体などを持参し、質問を行う。

(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

<小論文>

次の課題図書に基づいて音楽に関わるテーマを出題し、論述を求める。（90 分）

細見和之『ポップミュージックで社会科』（みすず書房）

※課題図書は当日必ず持参すること。

<口述試験>

小論文の内容及び課題図書に関する質疑等を行う。

※課題図書は当日必ず持参すること。

(7) 音楽文化専攻音楽学コース

<小論文>

次の課題図書に基づいて音楽に関わるテーマを出題し、論述を求める。（90 分）

細見和之『ポップミュージックで社会科』（みすず書房）

※課題図書は当日必ず持参すること。

<口述試験>

小論文の内容及び課題図書に関する質疑等を行う。

※課題図書は当日必ず持参すること。

(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

注意事項：課題曲、自由曲ともに暗譜で演奏すること。

◆歌三線

<調弦>

調子笛の音高に合わせて調弦すること。

<課題曲>

かぎやで風節、上り口説（1、2、3、8番）、秋の踊【道輪口説】（1、2、3、4番）

※上記3曲の中から1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<自由曲>

二揚調子の古典曲または二揚調子の古典民謡から任意の曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

◆琉球箏曲

<調弦>

あらかじめ調弦された巾、為、斗、十、九の音高をもとに本調子の調弦をすること。

<課題曲>

瀧落萱攪

<自由曲>

歌物の中から任意の1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

<課題曲>

かぎやで風、かせかけ

※上記2曲の中から1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<自由曲>

琉球舞踊又は八重山古典舞踊の中から任意の1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

なお、地謡用音源は<課題曲><自由曲>ともにカセットテープ・CD・MDいずれかの録音媒体を出願書類と一緒に提出すること。再生用機器等は大学側が準備する。

<初見演技・初見視唱>

舞踊：試験当日に例示する古典女踊の基本的所作を模倣して実演する。

組踊：試験当日に例示する台詞の唱え（執心鐘入の中から抜粋）。

(10) 社会人入試（琉球芸能専攻）

<実技検査>

試験曲は一般入試と同様とする。

<小論文>

課題は試験当日に出題する。

<口述試験>

小論文についての口頭試問を行う。

《音楽に関する基礎能力検査》

(1) 楽典

- ◆音楽表現専攻、音楽学コース：筆記試験（60 分）
- ◆沖縄文化コース、琉球芸能専攻：筆記試験（40 分）

(2) 聴音

- ◆音楽表現専攻、音楽学コース：一声（単旋律）および四声（和声）の聴音。

(3) 副科ピアノ

- ◆音楽表現専攻＜ピアノコースは除く＞、音楽学コース

注意事項：暗譜で演奏すること。繰り返しは省略する。

時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

音階および課題曲を演奏すること。

下記の課題曲より 1 曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<音階>

ハノン教則本第 39 番より $\sharp \flat$ 記号 3 つまでの長調または短調の音階から試験当日受験者本人のくじ引きにより演奏する。Tempo $\text{♩} = 80$ 以上

長調は繰り返しなしで、カデンツをつけて終わる。

短調は和声的短音階を 1 回弾いた後、カデンツをつけずに続けて旋律的短音階を 1 回弾き、カデンツをつけて終わる。

<課題曲>

次のイ)～ハ)の中から 1 曲を選択する。

イ) J.S.バッハ：インヴェンションまたはシンフォニアより任意の 1 曲

ロ) ハイドン、モーツァルトまたはベートーヴェン：ピアノソナタより任意の 1 つの楽章。

（ベートーヴェンを選択する場合は Op.101～111 は除く）。ただし緩徐楽章は除く。

ハ) ツェルニー：30、40、50 番練習曲より任意の 1 曲

(4) 音楽又は舞踊の実技

- ◆沖縄文化コース

音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

演奏時間は 3 分～5 分程度とし、全体の持ち時間は準備も含めて 6 分以内とする。

注意事項

- ・演奏は伴奏なしとする。
- ・本学でピアノ、打楽器、マリンバは用意するが、それ以外の楽器は持参すること。ただし、コントラバスは本学で準備したものを使用してもよい。
- ・舞踊に用いる録音媒体（CD 等）は事前に再生について確認をした上で出願時に提出すること。

5 平成 29 年度一般入試個別学力検査等日程表

専攻・ コース 日程	音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
	声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古典 音楽	琉球舞踊 組踊
平成 29 年 2 月 25 日 (土)	課題曲 自由曲 コールユープンゲン			音階 課題曲	作曲実技	小論文	小論文		課題曲 自由曲 初見演技・ 初見視唱
2 月 26 日 (日)		課題曲 A 課題曲 B 課題曲 C 初見視奏	音階 課題曲		口述試験	口述試験	口述試験	調弦 課題曲 自由曲	
	一 次 発 表								
2 月 27 日 (月)	楽 典 聴 音					楽典	楽典 聴音	楽典	
	副科ピアノ		副科ピアノ			音 楽 又 は 舞踊の実技	副科ピアノ	※小論文	
								※口述試験	

注 1：この日程は予定であり、出願状況によって変わることがある。

注 2：※印は社会人入試のみ（但し、楽典は受験しない）

<推薦入試>

Ⅱ 推薦入試

1 試験科目一覧

試験科目 専攻・ コース名		専 攻 試 験					音楽に関する基礎能力検査				
		実技 検査	コールユー ブンゲン	初見	小論文 又は作品	面接又は 口述試験	楽典 (注2)	聴音	新曲 視唱	副科 ピアノ	音楽又は 舞踊の実技
音楽 表現 専攻	声 楽 コース	◎	◎			◎	◎	◎		◎	
	ピアノ コース	◎				◎	◎	◎			
	弦 楽 コース	◎				◎	◎	◎		◎	
	管打楽 コース	◎				◎	◎	◎		◎	
	作曲理論 コース				◎	◎			◎	◎	
音楽文化専攻	沖縄文化 コース				◎	◎	◎				◎
	音楽学 コース				◎	◎			◎	◎	
琉球芸能専攻	琉球古典 音楽コース (調弦含む)	◎					◎				
	琉球舞踊 組踊コース	◎		◎ (演技・視唱)			◎				

注1. ◎印は、受験者が必ず受けなければならない科目を示す。

注2. 沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、他専攻の楽典とは別問題とする。

【予告】聴音については、平成30年度入学者選抜試験から「聴音又は視唱を選択する」への変更を予定している。

2 出願方法

(1) 声楽コース志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。

ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(2) 弦楽および管打楽コース志願者は、次の楽器の中から1種類を選択し、出願すること。

(弦 楽 器) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽器) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット

テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器

(3) 琉球古典音楽コース志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。

歌三線、琉球箏曲

3 試験内容および試験曲等

《専攻試験》

(1) 音楽表現専攻声楽コース

一般入試に同じ

(2) 音楽表現専攻ピアノコース

一般入試の課題曲 A,B,C に同じ（初見視奏はなし）

(3) 音楽表現専攻弦楽コース

注意事項：すべて暗譜、無伴奏で演奏すること。記号による反復は行わない。
時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

◆ヴァイオリン

<音階>

一般入試に同じ

<課題曲>

任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章（カデンツァは除く。ただし、作曲者が曲中に著したものについては演奏すること。）

◆ヴィオラ

<音階>

一般入試に同じ

<課題曲>

任意のヴィオラ協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

◆チェロ

<課題曲A>

一般入試に同じ

<課題曲B>

任意のチェロ協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

◆コントラバス

<課題曲A>

一般入試に同じ

<課題曲B>

任意のコントラバス協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

(4) 音楽表現専攻管打楽コース

一般入試に同じ

(5) 音楽表現専攻作曲理論コース

<作曲作品>

受験者自身の作曲作品の楽譜または演奏された録音媒体など。

※作品等は試験当日に持参すること。

<口述試験>

提出された作品をもとに質疑を行い、音楽への意欲などを問う。

(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

<小論文>

テーマ「現代の社会と音楽（舞踊）との関わりについて論じなさい」

原稿用紙（400字詰め）5枚程度とし、手書きであること。

※小論文は、出願書類と一緒に提出すること。

<口述試験>

小論文の内容等を問う。

提出した小論文のコピーを試験当日に持参すること。

(7) 音楽文化専攻音楽学コース

<小論文>

テーマ「現代の社会と音楽（舞踊）との関わりについて論じなさい」

原稿用紙（400字詰め）5枚程度とし、手書きであること。

※小論文は、出願書類と一緒に提出すること。

<口述試験>

小論文の内容等を問う。

提出した小論文のコピーを試験当日に持参すること。

(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

一般入試に同じ

(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

一般入試に同じ

《音楽に関する基礎能力検査》

(1) 楽典

◆音楽表現専攻（作曲理論コースを除く）：筆記試験（40 分）

◆沖縄文化コース、琉球芸能専攻：筆記試験（40 分）

(2) 聴音

◆音楽表現専攻（作曲理論コースを除く）：8 小節程度の一声（単旋律）および四声（和声）の聴音。

(3) 新曲視唱

◆作曲理論コース、音楽学コース：8 小節程度の旋律の視唱。予見時間は 1 分 30 秒、主和音及び開始音を与える。

(4) 副科ピアノ

◆音楽表現専攻（ピアノコースを除く）、音楽学コース

注意事項：暗譜で演奏すること。繰り返しは省略する。

時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

イ) ～ハ)の中から 1 曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

イ) J.S.バッハ：インヴェンションまたはシンフォニアより任意の 1 曲

ロ) ハイドン、モーツァルトまたはベートーヴェン：ピアノソナタより任意の 1 つの楽章

（ベートーヴェンを選択する場合は Op.101～111 は除く）ただし緩徐楽章は除く。

ハ) ツェルニー：30、40、50 番練習曲より任意の 1 曲

(5) 音楽又は舞踊の実技

一般選抜試験に同じ

4 平成 29 年度推薦入学試験日程表

専攻・ コース 日程	音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
	声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古典音楽	琉球舞踊組踊
平成 28 年 11 月 20 日 (日)	楽典 聴音				副科ピアノ	楽典	副科ピアノ	調弦 課題曲 自由曲	課題曲 自由曲 初見演技・ 初見視唱
	課題曲 自由曲 コルユーブンゲン	課題曲 A 課題曲 B 課題曲 C	音階 課題曲	音階 課題曲	新曲視唱	音楽又は 舞踊の実技	新曲視唱	楽典	
	副科ピアノ		副科ピアノ		口述試験				
	面接								

注：この日程は予定であり、出願状況によって変わることがある。

<入試問題例>

Ⅲ 入試問題例

《試験科目 目次》

* 一般入試

楽典（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）	・ ・ ・ ・ ・	22
楽典（琉球芸能専攻、音楽文化専攻沖縄文化コース）	・ ・ ・ ・ ・	23
聴音（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）	・ ・ ・ ・ ・	24
ピアノ初見視奏（音楽表現専攻ピアノコース）	・ ・ ・ ・ ・	25
作曲実技（音楽表現専攻作曲理論コース）	・ ・ ・ ・ ・	26
小論文（音楽文化専攻）	・ ・ ・ ・ ・	27
小論文（琉球芸能専攻琉球社会人入試）	・ ・ ・ ・ ・	28
初見視唱（琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース）	・ ・ ・ ・ ・	30

* 推薦入試

楽典（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）	・ ・ ・ ・ ・	31
楽典（琉球芸能専攻、音楽文化専攻沖縄文化コース）	・ ・ ・ ・ ・	32
聴音（音楽表現専攻）	・ ・ ・ ・ ・	33
新曲視唱（音楽文化専攻音楽学コース）	・ ・ ・ ・ ・	34

[楽典]

I. 次に示す音程について答えなさい。

例

1. ①から⑩の各音程を例にならって答えなさい。(複音程は単音程に直すこと。)
2. ①から⑤の各音程の転回音程を答えなさい。

II. 次に示す調をドイツ語で答え、その調号を解答欄の譜表上に書きなさい。
(短調は和声短音階のみを考へること。)

- ① c音を属音とする短調
- ② h音を下属調とする長調
- ③ e音を導音とする長調の平行調
- ④ b音を第3音とする長調
- ⑤ a音を第6音とする短調

III. 次に示す和音について答えなさい。

例

和音の種類 (長三和音) () () () () () () () () () ()

和声記号C-dur: (1) c-moll: () b-moll: () Cis-dur: ()

1. ①～⑤の和音の種類を例にならって答えなさい。
2. ①～③に指定された調における和声記号を答えなさい。(短調は和声短音階のみを考へること。)

IV. 次に示す楽語について答えなさい。

- ① accelerando
- ② morendo
- ③ tranquillo
- ④ maestoso
- ⑤ doloroso
- ⑥ col canto

1. ①～⑥の意味を答えなさい。
2. ①～⑥の同義語を下の楽語群から選び、解答欄に書きなさい。

[	espressivo	cantabile	mesto	legatissimo	calmo	amabile	sostenuto	stringendo	]
	colla parte	con sordino	grandioso	smorzando	legato	col legno	marcato		

V. 次に示す旋律について答えなさい。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

1. ①～⑥の調をドイツ語で答えなさい。
2. ④の旋律を4分の3拍子に改め、調号を用いずアルト譜表上に完全度低くして書きなさい。

～下書き用～

楽典

（琉球芸能専攻、音楽文化専攻沖縄文化コース）

I. この楽譜は、中田喜直作曲「夏の思い出」の旋律である。以下の問いに答えなさい。

- (1) この曲は何調か。
- (2) この曲は何分の何拍子か。
- (3) この楽譜の1小節ぶんの長さに等しい音符の組み合わせはどれか。次の中から選んで記号を書きなさい。
 ア ♪+♪+♪+♪+♪ イ ♪+♪+♪ ウ ♪+♪+♪
 エ ♪+♪+♪+♪+♪ オ ♪+♪+♪+♪
- (4) 楽譜中の あ～え が示す音程は何度か。解答用紙の例にならって書きなさい。
- (5) 楽譜中の音符 か の名称を書きなさい。また、記号 き～け の名称と意味を書きなさい。
- (6) この楽譜の4行目（第13～16小節）を全音低く移調して、解答用紙の五線に書きなさい。
- (7) この楽譜を ♪63 のテンポで演奏すると、所要時間はどれほどか。計算式を書いてから所要時間を答えなさい。小数点以下は四捨五入すること。（速度の変化は無視すること）

II. 次の問いに答えなさい。

- (1) 解答用紙の五線に、次の音階を全音符で、調号を使わずに書きなさい。

① ト長調 ② ト短調（和声的短音階）

- (2) 解答用紙の五線に、次の和音を全音符で、調号を使わずに書きなさい。

①C音をもとにしたメジャー・コード ②C音をもとにしたマイナー・コード

III. 次の11問の中から5問を選んで答えなさい。なお、選んだ問の番号を解答欄の（ ）の中に書くこと。

- (1) へ長調の下属調は何調か。

- (2) 次の3つの音を含む長調を答えなさい。

B C F $\sharp$

- (3) オーケストラに使われる弦楽器のうち、ヴァイオリン以外の楽器を3つ書きなさい。

- (4) 次の速度標語について、速い方から遅い方へ順に並べて記号で答えなさい。

ア. Moderato イ. Allegro ウ. Allegretto エ. Vivace オ. Andante

- (5) 次の楽器のうち、管楽器を3つ選んで書きなさい。

尺八 琵琶 二胡 オーボエ チェレスタ シタール 笙

- (6) 琉球箏曲の本調子の調弦のとき、三線の女弦（工）の音高と合わせる箏の弦の名を答えなさい。

- (7) 三線の本調子において、男弦をB（ロ音）の高さに合わせると、中弦の高さはどの名にあたるか答えなさい。

- (8) 三線の二揚調子において、男弦をC（ハ音）の高さに合わせると、中弦の高さはどの音名にあたるか答えなさい。

- (9) 三線の二揚調子において、開放弦の音程が完全4度になるのはどの組み合わせか。

男弦と中弦 中弦と女弦 男弦と女弦

- (10) 《与那原節》《坂原口説》を含む楽曲構成で踊られる舞踊名を答えなさい。

- (11) 《かぎやで風節》の歌詞を書きなさい。解答欄に書ききれない歌詞は余白に書くこと。

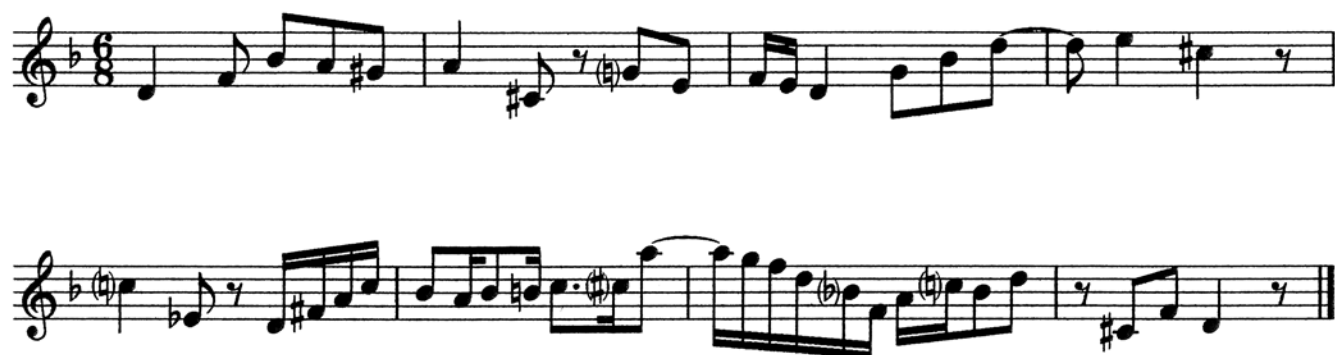
平成28年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般入学試験

[聴 音]

単旋律 G-dur 4分の3拍子 8小節



単旋律 d-moll 8分の6拍子 8小節



四声体和声 e-moll 4分の2拍子



Leggiero cantabile

Musical score for measures 1-4. The piece is in 4/4 time, key of D major. The right hand plays a melody with eighth and sixteenth notes, while the left hand provides a harmonic accompaniment with chords and single notes. The tempo/mood is marked *Leggiero cantabile* and the dynamic is *mp*.

Musical score for measures 5-8. The right hand continues the melodic line, and the left hand features a more active accompaniment with sixteenth-note chords. Dynamics include *pp*, *pp sosten.*, *mf*, and *p*. The tempo is marked *poco rit.*.

Musical score for measures 9-11. The right hand has a more complex melodic pattern with triplets. The left hand has a steady accompaniment. Dynamics include *f* and *mp*. The tempo is marked *a tempo*.

Musical score for measures 12-14. The right hand features a melodic line with some grace notes. The left hand has a dense accompaniment. Dynamics include *cresc.*, *mp espress.*, and *legato*.

Musical score for measures 15-17. The right hand has a melodic line with a grace note. The left hand has a steady accompaniment. The dynamic is *pp*.

Musical score for measures 18-20. The right hand has a melodic line with a grace note. The left hand has a steady accompaniment. The tempo is marked *accel.* and the dynamic is *cresc.*.

Musical score for measures 21-22. The right hand has a melodic line with a grace note. The left hand has a steady accompaniment. The tempo is marked *Tempo I* and the dynamic is *mf*.

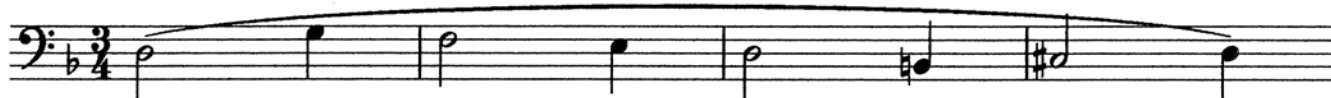
Musical score for measures 23-25. The right hand has a melodic line with a grace note. The left hand has a steady accompaniment. Dynamics include *f* and *pp*.

Musical score for measures 26-28. The right hand has a melodic line with a grace note. The left hand has a steady accompaniment. The dynamic is *f*.

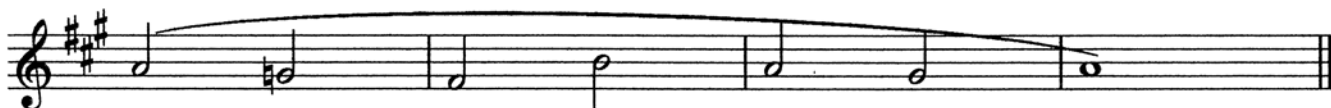
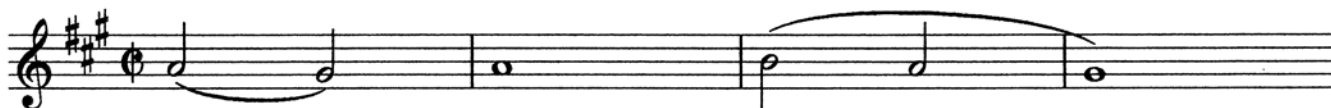
作曲実技

次の課題を四声体で実施しなさい。

バス課題



ソプラノ課題



平成二十八年度 沖縄県立芸術大学音楽学部入学試験（前期日程）

小論文

（音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース）

課題図書に基づいて、左記のうちから一つを選んで一〇〇〇字程度で論じなさい。解答番号欄には、一または二のいずれを答えたかを記すこと。

- 一 演奏と楽譜の関わりについてどうあるべきか、「のだめ」タイプと「千秋」タイプを比較しながら、著者の論点を整理した上で自分なりに論じなさい。
- 二 ピアニストが「不良債権」であるとはどういうことを説明した上で、クラシック音楽家は今後どうしたらよいかを自分なりに論じなさい。

課題図書

青柳いつみこ『ボクたちクラシックつながりーピアニストが読む音楽マンガ』 文藝春秋

間になろうと努めることが、肝要なのだ。現代女性の生活は、みずからの身体と感受性に対する勝利にはかならない。

《美しき》は《女らしき》の特質のひとつである。そしてフランス人だけでなくアメリカ人もまた、美しさや女らしさが不可避免的に課してくる規範から自由ではありえない。スーザン・ブ라운ミラーは、現代アメリカ社会が何を美しさや女らしきの構成要素と見なしているか、詳しく叙述してみせた。体型、シルエット、下着へのこだわり、痩せることへの強迫観念、長いブロンドの髪（それは女らしきの象徴であり、ときには危険な官能性のしるしともされる）、色白で体毛の少ない肌、なめらかで調和のとれた態度や身ごなし、命令口調を抑えた柔らかな言葉遣い……。こういった女らしさは生物学的な根拠をほとんど持たず、社会的・文化的につくられるものだ。そしてブ라운ミラーによれば、アメリカ人女性の《女らしき》は、男性にたいする女性の経済的、および精神的な依存性を正当化するためのイデオロギーとして機能している、ということになる。彼女たちは歴史的にみても、男社会を生きのびるための戦略として女らしきを利用してきた（あるいは利用せざるをえなかった）し、現在でも、他の女性以上に女らしきを身につけようと熾烈な戦いを演じている。

このような《女らしき》と《美しき》の要請に、女性たちはどのように対処したのだろうか。また、女の美しさの規範を定めようとした男たちは、美しくなるためにどのようにすべきだと忠告したのだろうか。美しくあることは単にあたえられた身体の問題ではなく、同時に人工的な配慮の問題でもあるはずだ。それは自然と文化、個人の選択と社会の束縛が分節化する場であるだろう。美しさは創造され（あるいは捏造され）、規定され、多かれ少なかれコード化される。すなわち、女性の美しさはすぐれて身体技法に関わるテーマになってくるのだ。

（出典…小倉孝誠『《女らしき》の文化史 性・モード・風俗』中公文庫八九五、中央公論社、二〇〇六年、一七〇～一七五ページ）

1. 右の文章を四〇〇字以内で要約しなさい（四〇点）。

2. 「美しさは創造され（あるいは捏造され）、規定され、多かれ少なかれコード化される。」について、具体例をあげながら、あなたの考えを一〇〇〇字以内で述べなさい（六〇点）。

小論文（琉球芸能専攻）

平成二十八年度沖縄県立芸術大学音楽学部入学試験（社会人）

なぜ女性の美しさが価値あるものとされたのか（九〇分）

女性であれ（あるいは男性であれ）、自然であれ、芸術作品であれ、美しいものを愛するのは、人間にとってきわめて根源的な反応に違いない。また、男が女に（そして女が男に）関心を持つことは、ある程度まで生物学的な必然でもあらうから、近代ヨーロッパの男たちが女の美しさや身体について倦むことなく論じてきたのも、とりたてて異とするに足りないのかもしれない。

ただ、十九世紀フランスの医師や衛生学者たちの著作をていねいに読んでみると、女性の美しさを語るものの中には、それだけではかたづけられない次元が潜んでいることに気づく。感情的な次元、衛生学的な次元、そして倫理的な次元の三つである。

まず、美しさは愛が生まれるために不可欠の要件であり、愛こそは女性にとって生涯の一大事である、と彼らは異口同音に唱える（これにたいして、明治期日本の倫理は美しい女性が愛を知らないとし難くしていた）。『医学事典』の「女性」の項目を担当したヴィレーによれば、女性は愛と優雅さによって男性の庇護を勝ち取るものであり、もともと女性らしい女性もつとも情熱的な愛を芽生えさせるとされる。すでに言及したように、同時期のマンヴィルも『女性の医学的、哲学的歴史』（一八四五）において、美しさ、とりわけ妙齢の女性の美しさは、まさしく愛を生み出させるためにあてられたものであり、愛されることが女性の幸福にはかならない、と言明していた。第二に、美しいということは健康だということの証しである。ひとは健康でなければ美しくありえない。「衛生とは健康であり、健康とは若さである」とカヴェは言う。

美しい女性は、身体的にも精神的にも健全な女性であり、したがって妻として、母としての責務をつつがなくまっとうできる女性ということになる（この美と健康というイデオロギーは、近代日本にも流布した）。家庭の安寧と子孫の確保を重視していた当時のブルジョワジーにとって、美と健康は切り離せないふたつの価値であった。もちろん現実には、若い女性たちは寄宿舎や、家庭のなかに閉じこめられ、上半身をコルセットに締めつけられ、しばしば結核や萎黄病といった病気に悩まされていた。だからこそ、十九世紀の医師たちは女子教育にダンスや屋外でのスポーツを取り入れるよう進言したし、世紀末になると学校や寄宿舎でも、女子生徒のために水泳をはじめとする体育教育が組織されるようになった。

そして第三に、女性にあつては美しくあることがほとんどひとつの義務である。ふたたびカヴェを引用しよう。

わたしたち女性が会得すべき技術があるとすれば、それはわたしたちの若さと美しさを保つ技術でしょう。というのも、女性はただ女性であるというその一事ゆえに、永遠に若く、美しくあらねばならないもののようなのですから（「序文」）。

女性であること、女性性フェミニティそれ自体が美を要請すると同時に、妻になるという運命が美しさを求める。女性は働く夫を支えてやらなければならず、そのために「若さと美しさの魅力を入念に維持することは、女性にとって義務にほかなりません」。

義務という言葉は、美の倫理的な側面をあらわす。結婚前の若い女性の場合、処女性と無垢は美しくなるための前提であり、医師のみならずブルジョワ男性一般にとって本質的な価値であった。当時の女性において、美と貞潔は連動するのであり、貞潔でない女性は美しくありえない（明治時代の日本では、まさしく正反對の論理が唱えられていた。美しい女には「疵物」が多く、貞潔とは無縁であるとされていたのだから）。道徳的な不純さと放恣な生活は、健康やみずみずしさととって有害であり、女性を醜くするだろう。十九世紀西洋の男たちは、娘や妻に美しくあることを求め、それを倫理の名において正当化していたのである。

こうして女性たちは、感情的、衛生学的、そして倫理的な理由づけから、美しくあることがみずからの幸福と自己実現につながるのだと思いこまれた。美しくあること、そしてそれ以外のなものでもないことが、女性の心理的安定を保証するだろうと考えられた。無論すべての女性が美しくあったわけではないから、そのような期待と要請は女性たちにとってしばしば苦痛に感じられ、ストレスの原因にもなったことだろう。他方で男性のほうには、《美しさ》を無条件に価値づけることによって女性の身体をひたすら対象化し、《美しさ》がまるで社会の論理と家庭の秩序に合致するものであるかのように振る舞ったのである。

このような思考を十九世紀のヨーロッパ男性の愚かしい偏見、腹だたいしい独断にすぎない、と一笑に付すこともできよう。しかし、そのような見方は現代社会においてもけつて消滅したわけではない。現代フランスのある医師、しかも女性の医師は、一九七七年に出版された『女性と身体』と題された書物のなかで次のように述べているのである。

ひとから見て気持ちのよい女性、素敵な妻、美しいお母さんであること、それは単なる身体的な態度の問題ではない。それは女性の人生を成功させるための計画に関わる問題なのである。なぜやりな振る舞いを抑制し、自尊心をもち、快い人

初見視唱（琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース）

組踊「執心鐘入」

若松

二十日夜の暗さ
道迷てをたん
御情の宿に
しばし休ま

小僧一

やかれよも座主が
かじめたる若衆
留守ならば互に
語る嬉しや

宿の女

まれの御行合とらめ
あまく片時も
起きれゝ里よ
語らひぼしやの

若松

今日のはつ御行合に
語る事ないさめ

楽 典 (音楽理論・楽典、音楽文化政策研究コース)

V. ①～⑤の略記された楽語を省略しない元の綴りであの欄に、その意味をいこの欄に答えなさい。

- ①
- cresc.*
- ②
- riten.*
- ③
- espress.*
- ④
- smorz.*
- ⑤
- allarg.*

VI. ①～⑩の楽語の意味を答えなさい。

- ①
- dolce*
- ②
- subito P*
- ③
- meno mosso*
- ④
- tempo I*
- ⑤
- tranquillo*
- ⑥
- meslo*
-
- ⑦
- ad libitum*
- ⑧
- con sordino*
- ⑨
- scherzando*
- ⑩
- allegro non troppo*

VII. ①、②の用語について具体例を示して説明しなさい。

- ① 近親調 ② 五音音階

例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

III. ①～⑧それぞれの和音の種類を答えなさい。

例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

IV. ①～④に示された 4 音を音階に含む全ての調をドイツ語で答えなさい。

(短音階は和声短音階のみとすること。)

例 c, es, f, as

- ① es, g, as, b ② c, d, f, as ③ cis, e, fis, gis ④ cis, eis, a, h

IV. ①～④に指示された音階の上行形を、それぞれの解答欄内の譜表上に書きなさい。調号、全音符を用いること。

例 c を主音とする和声短音階

- ① g を導音とする長音階
-
- ② fis を属音とする旋律短音階
-
- ③ h を下属音とする長音階
-
- ④ g を第 3 音とする和声短音階

楽典 (琉球芸能専攻、音楽文化専攻沖縄文化コース)

I 次の楽譜は、大中寅二作曲《椰子の実》の旋律である。以下の問いに答えなさい。

- (1) この曲は、何調か。
- (2) この曲は、何分の何拍子か。
- (3) この曲を反復記号の通りに演奏すると、全部で何小節になるか。
- (4) あ、い、う の音階はそれぞれ何度か。解答用紙の例にならって答えなさい。
- (5) か、き、く の記号の名称と意味を答えなさい。
- (6) この曲の さ の部分にふさわしい和音の組み合わせを次のコードネームの中から選び、記号で答えなさい。
ア G-D イ C-G ウ F-C エ D-G オ G-A
- (7) この曲を指定された速度の通りに演奏すると、全曲演奏するにはおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、次の中から、最も近い時間を選びなさい。なお、演奏中の速度の変化は考慮に入れないものとする。

約 57 秒 約 101 秒 約 115 秒 約 152 秒

(8) この楽譜の 4 段目を全音低い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

II 次の問いに答えなさい。

(1) 次の音階を全音符で、臨時記号を用いて、解答用紙の五線に書きなさい。

ア 二長調 イ ハ短調 (和声的短音階)

(2) 次の中から、マイナーコードを三つ選び、記号で答えなさい。

III 次の 9 つの問いの中から、5 つを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号を解答用紙の () に書くこと。

(1) ハ長調の同主調は何調か。

(2) *accel.* を省略せずにアルファベットで書き、名称と意味を答えなさい。

(3) 次の中から、4 分音符の長さに等しい音符の組み合わせを選び、記号で答えなさい。

ア 2 分音符+8 分音符 イ 16 分音符+付点 8 分音符
ウ 付点 4 分音符+8 分音符 エ 8 分音符+16 分音符

(4) 次の中から、ジャズが生まれた国を一つ選んで答えなさい。

アメリカ ブラジル イギリス 中国 南アフリカ共和国

(5) 次の中から、沖縄の民謡を一つ選んで答えなさい。

五木の子守歌 江差追分 佐渡おけさ よさこい節 谷茶前節

(6) 三線の二揚調子において、男絃を C (ハ音) とすると、中絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。

(7) 琉球琴曲の本調子において、音程が完全 5 度になる絃の組み合わせはどれか。

二と七 五と八 五と六 八と九 一と五

(8) 琉球舞踊「伊野波節」で用いられる曲名 (節名) をすべて答えなさい。

(9) 《かぎやで風節》の歌詞を書きなさい。解答欄に書ききれない場合は、余白に書くこと。

聴音

旋律聴音 c-moll 4分の4拍子 8小節



旋律聴音 G-dur 8分の6拍子 8小節



四声体和声聴音 d-moll 2分の2拍子 8小節



平成28年度沖縄県立芸術大学音楽学部推薦入学試験

新曲視唱(音楽学コース)

次の旋律を歌いなさい。
(予見時間は1分半。視唱前にピアノで主和音、開始音を与える。)

Moderato

The musical score consists of two staves. The first staff is in 3/4 time, starting with a mezzo-forte (*mf*) dynamic. The second staff continues the melody with dynamics including *molto rit.* (very slow), *a tempo* (return to original tempo), and *sub.p* (subito piano), ending with a triplet of eighth notes.

《平成30年度入学者選抜試験から実施する「聴音又は視唱を選択する」への変更について》
視唱の問題例については、年度末までに当大学ホームページに掲載する。

平成 29 年度

試 験 曲

音楽学部個別学力検査等

平成 28 年 7 月 発行



沖縄県立芸術大学

〒903-8602

沖縄県那覇市首里当蔵町 1 丁目 4 番地

電話 098-882-5058（教務学生課）

<http://www.okigei.ac.jp>